令和８年度　立川市立若葉台小学校『学校経営計画』

令和８年４月
校長　片山　伸哉

立川市の教育政策方針（子どもたちの生きる力を育む学校教育）

◇基礎的・基本的な学力と健やかな体を育む
◇豊かな心をもち、主体的に社会の形成に参画する
◇自らの個性や能力を伸ばし、一人ひとりにあった個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る
◇誰一人取り残さず、家庭・地域と共に歩む学校づくり

立川市教育委員会学校教育の指針（15の基本施策）

①確かな学力の育成　②豊かな心を育む教育の推進
③円滑な教育活動の推進　④教職員の適正配置と環境整備
⑤連続性のある多様な学びの場と支援の充実
⑥学校における指導の充実　⑦相談・連携体制の充実
⑧教育ICT環境の整備　⑨就学の機会と安全・安心の確保
⑩児童・生徒の保健衛生の推進　⑪学校給食事業の適正な運営
⑫安全・安心な給食の提供と食育の充実
⑬総合的な教育行政の企画と推進　⑭学校施設環境の維持管理と充実　⑮公共施設の計画的な更新

若葉台小学校　教育目標

◎心豊かな子　生命や人権を尊重し、みんなと協力する心豊かな子ども
○自ら学ぶ子　自分から学び、深く考え、行動する子ども
○元気な子　未来を切り拓き、世界や社会で活躍する元気でたくましい子ども

経営理念

自分を大切に　友だちを大切に　一人一人を大切にする学校

立川第九中学校区　共通経営方針

児童・生徒、保護者、地域の方の信頼と期待に応え、共生を目指す
～共に育てよう、未来の若葉っ子～

九中校区で目指す子ども像

○基礎・基本の力を身に付け、課題をもって取り組む児童・生徒
○思いやりの心をもち、地域や人との関わりを大切にする児童・生徒
○地域への愛着や貢献できる意欲をもち、世界に目を向けることのできる児童・生徒
○何事にも自信がもてる児童・生徒

目指す学校像

①自他を大切にし、お互いの良さや可能性を認め合える学校
②児童が学ぶ喜びや楽しさを実感し、意欲的に学習に取組む学校
③保護者から信頼され、地域から愛される学校
④教職員が意欲的に学び合い、子どもたちを教え・育てることに誇りをもつ学校

目指す児童像

①自他を大切にし、互いの良さを認め合う子
②自ら課題を見付け、結果だけでなく過程を大事にし、学び・考える子
③将来に向けて希望をもち、すすんで体を鍛えたくましく自立できる子

目指す教職員像

①子どもにとって「安心できる」「信頼できる」「頼りにされる」教職員
②子どもの成長を「認め」「励まし」「価値付ける」ことができる教職員
③子ども・保護者・地域から信頼される教職員

教育活動の具体的方策

令和８年度の重点　①生命尊重教育の組織的展開　②一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実　③誰一人取り残さない指導・支援の工夫・改善　④家庭・地域と連携した基本的生活習慣の定着　⑤外部人材の積極的活用

１　生命を尊重する教育の徹底

①生命尊重を第一に考え、全ての人を互いにかけがえのない存在として尊重し、認め合い、共に生きようとする児童を育成する。
②教育活動全体を通して、人権教育・道徳教育など生命を尊重する教育の徹底を図る。
③児童が現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するため、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す、など）ができるよう、「SOSを出す力」「SOSを受け止め、支援する力」を安全指導等により育成する。
④いじめについて児童が主体的に考え、解決に取り組む力を身に付けさせる。
⑤他者とのよりよい関係づくり、他者とのコミュニケーションの基本として「あいさつ」の大切さを児童に伝えていく。

２　確かな学力の育成

①「学習のきまり」や「生活のきまり」を徹底し、規律ある学習・教室環境を確立する。
②教科の特質を踏まえた授業を通して、基礎的・基本的な力の確実な定着を図る。また、その力を基にした発展的な課題への取組や児童が学びを実生活で実感できる指導を充実させる。
③学びの目的や授業のねらいを明確にし、問題解決における「自力解決」や「学び合い」、「振り返り」の学習場面を意図的・計画的に設定することで学びの質を高める。
④AIドリル等を活用した学習や、個の能力に応じた学習に積極的に取り組ませる。
⑤各種調査・児童の学習状況や児童の実態を把握・分析し、児童一人一人の能力や学習の進捗に応じた指導を充実させる。

３　特別支援教育の推進

①障害の有無に関わらず、共に学び合い理解し合うことを追求するとともに、多様な学びの場を用意し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援をする。
②特別支援教育コーディネーターを複数配置し、校内委員会を機能・充実させるとともに、効果的な特別支援教育実施体制を構築する。
③様々な困難を抱える児童に対し、多角的なアセスメントに基づき組織的に支援する。
④豊かな人間関係を築こうとする意欲と、誰に対しても思いやりのある優しい心を育成するため、異学年交流や交流及び共同学習を積極的に実施する。
⑤教職員の専門性向上を図るため、適切な指導・支援に関する研修を実施する。

４　体力の向上

①体育科の学習を中心として、運動への意欲を高めるとともに、一校一取組運動や体力向上推進月間における体育的活動など、体力向上に係る様々な運動の機会を設定し、運動への関心・意欲の向上と運動の習慣化を図る。
②家庭との連携・協力を大切にし、早寝早起き・朝ご飯や基本的生活習慣の定着を図るなど、健康な心と体を育む。
③食習慣や事故の健康管理能力の向上に向け、学校給食を活用した食育の推進、栄養士との連携などにより、食への関心の高め、食べることの大切さを理解させる。

５　立川市民科の充実と外部人材の積極的活用

①認知症サポーター養成講座や救命救急講習、地域の特性や地域資源を生かした学習など「立川市民科」の取組を充実させる。
②立川市民科の実践を周知する機会として「立川市民科公開講座」を実施し、保護者や地域の方に取組を広く発信する。
③児童の学習支援や学校生活支援の充実のため、保護者や地域住民に加え、近隣大学や企業等とも連携・協力体制を構築していく。
④地域と連携しながら吹奏楽等の音楽活動に取り組むとともに、音楽活動を中心に、響き合い、協力し合う楽しさや喜びを体験させる。

学び続ける教職員集団

①教育のプロとしての自覚と責任をもつ
・プロの教職員として、絶えず資質や指導力向上に努める。
・教育公務員として、子ども・保護者・地域から信頼される言動を行う。
②組織的・計画的な人材育成
・OJTを含めた校内研究の取組による人材育成を推進していく。
・職層や経験を生かして組織的・計画的に人材育成に取り組む。
・仕事とプライベートを分け、メリハリある職務遂行に努める。

学校経営の改善・充実

①組織的な学校経営の推進
・職層と経験に応じた役割と職責を確実に実施する。
・学校評価に基づいた教育活動の改善・充実を図る。
②教職員も自身を大切に、他者を大切にする
・大人も自分を大切にし、お互いの良さを認め合う教職員関係を構築する。
・教職員の人権感覚の醸成、服務事故防止のため計画的な研修を実施する。
・学校の安心・安全に向け、密に連携・協働する組織体制づくりを進める。

地域と共に歩む学校づくり

①学校・家庭・地域が連携・協働し「共育」の拠点となる、地域に根差した学校づくりの推進
・保護者・地域との関係を重視し、信頼される学校づくりを推進する。
・コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくりに取組む。
②学校の教育活動の積極的な発信
・学校での取組について、学校便りや学校ホームページで発信する。
・広報内容について組織的に取組み、積極的な情報発信に努める。